

決算審査

議会指摘事項の
取り組み状況

1. 一般会計（住宅新築資金等貸付金・災害援護資金・町営住宅使用料等）、特別会計で、一億二千万円を超える滞納金の収納率向上の成果は

一、特別徴収チームで、訪問面接による納付意識の向上に努めている。

二、納付意識の向上が図れない場合、状況に応じて、動産・不動産、給与の差押さえ等の対処を検討している。

三、前年比一・七五倍の徴収実績となった。今後も全力で回収に努めたい。

2. 公共下水道、農業集落排水の加入促進と、合併浄化槽

設置事業補助金廃止を県にしないよう関係市町村に働きかけが必要

一、未設置世帯の加入促進は広報、訪問により働きかけている、高齢、独居世帯が多く困難ではあるが、引き続き加入促進を図る。

二、合併浄化槽設置事業の補助金を平成二十一年度に廃止の方向を県が出している。関係市町村で廃止せず継続の要望書を提出している。



「ぼかぼか教室」で健康管理を

3. 「ぼかぼか教室」を全町に広げる取り組みに

「ぼかぼか教室」は、当初十三地区で取り組み、現在十八地区となった。さらに全町に広げたい。

4. 基本健康診査受診率が低下している。未受診者への再度の呼びかけ、要検査者への追跡調査、予防医療の必要性等で受診率向上を

平成十八年度、千七十一人中、四百八十五人受診。
（四五・二八割の受診率）

日野病院等での検査を受けて受診されない人もある。生活習慣病等の予防意識の高揚と啓発活動、健康相談を推進し、健康づくりに努める。

5. 補助金支出は、目的、運営内容を吟味して支給を

補助金は、事業を遂行するため、費用の一部を助成するものであり、適正使用と効果、自己財源、繰越金等を勘案し、厳正に検討していく。



道路整備は重要課題



貴重な資料が保存されている歴史民俗資料館

6. 歴史民俗資料館のあり方、日野町農林公社の体制強化、町道（旧広域農道、日野金城線）の維持管理について指摘

歴史民俗資料館は、文化財審議委員会と協議し、活用方法を検討している。

農地の維持、保全管理については、運営委員会を開催し、検討。オペレーターの確保と機械整備をし、計画的に農地の荒廃防止に努める。

町道の維持管理については、作業範囲の確認と作業終了後の点検確認など、適正執行により、道路の維持管理に努める。

また小規模校なので高校、中学校、保育所との交流をし、成果を上げている、と話された。

質疑応答の後、授業参観をしました。三年生・四年生一の複式学級は、図工であり、仲良く版画の下絵を描いていました。

「五年生・六年生」は、複式学級ではあるが、主要科目（国語・算数・理科・社会）であり、学年別に学習が確保されていた。

全体的に、小規模校の特色を活かした学校づくりに努力されていきました。



実験に取り組む5年生

引き続き、多目的ホールで、全校児童や保護者、地域の人達と一緒に給食。児童と副食について意見交換をしました。

食材は、地産地消で境港で採れたイワシでつくった団子。地元野菜をたくさん入れた汁等であり、おいしくいただきました。